

意見交換会実施報告書（公募）

【1班】

開催団体	薩摩川内政経クラブ	参加人員	47人			
開催日時	平成28年4月18日（月）19:00～20:00					
開催場所	宮里集会所					
出席議員 （担当）	議員名	出欠	担当	議員名	出欠	担当
	持原 秀行	○	司会進行	福元 光一	○	
	井上 勝博	○		徳永 武次	○	記録
	佃 昌樹	×		帯田 裕達	○	
	今塩屋裕一	○				

意見交換の内容

（凡例 ◆団体の意見 ◇議員の意見）

・ 少子高齢化と若年人口の流出について

《意見交換の概要》

◆ 少子高齢化の対策について

- ◇ 少子と高齢化は区別して考えるべきである。高齢化は医学の進歩による長寿命化が考えられ、少子化は子育ての大変さが負担になっていると思われる。（現在の子育てにおいては教育等における家計負担が大きい。）
- ◇ 先進国フランスでは女性の働く環境整備を整え、少子化対策に成功した。（保育園・ベビーシッター整備・女性賃金の見直し）
- ◇ 子育て世代の地元居住定着に向けて働く場の確保が必要である。
- ◇ 子育て支援対策をもっと充実するべきである。
- ◇ 子育てを支える保育園整備・保育士確保がなされ、誰でも安心して預けられる環境が必要である。
- ◇ 流入世帯の住宅確保のために、住宅地整備が必要である。
- ◇ 家族構成（子供の数）の変化がみられる。
- ◇ 子育てにおける財政負担軽減のため、公立・私立高校までの学費負担無料化が必要である。
- ◇ 4人以上の子育て家庭には、市独自の祝い金・援助策が必要と思われる。
- ◇ 子育て世代が子育て不安解消のために気軽に話し合える場も必要である。

◆ 独身者が多くみられるが、行政として集団見合いなどができないか。

- ◇ 民間において対応ができるのではないか。（本会議での質問に対して当局答弁あり）

◆ 市組織に少子化対策専門課・専門職が配置してあるか。

- ◇ 課・配置はしてないが、子育て対策を多く予算化してある。

◆ 若年人口流出について

- ◇ 都会との賃金格差が大きい。
- ◇ 職員を再雇用するより、若者の雇用を確保する必要がある。
- ◇ 農業の自給率を高め、労働単価を上げる施策が進められれば、人口流出は発生しにくい。

《主な要望等》

- ◆ 企業立地も大事であるが、地場産業育成にも力を入れてほしい。